

新人研修を行いました

平成30年2月21日に営業部文化財課の新人研修を八街市郷土資料館様で行いました。

営業部文化財課の新人を対象に、八街市郷土資料館様ご協力の下、研修を行いました。

郷土資料館の学芸員の方にご案内頂き、普段私達が取扱っている文化財展示用品が、現場で実際に使われている様子を見学しました。

また、八街市郷土資料館様で大切にされている「創意工夫」についてもご教示を頂きました。

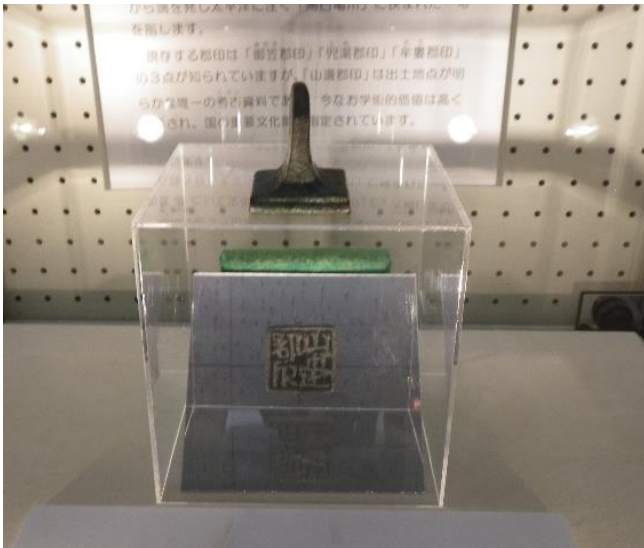
「知って・学べて・楽しめる」資料館を目指して、来場者の目線に立った見やすくわかり易い展示を意識しておられました。



・展示品と工夫について、学芸員の方にご案内して頂きました

八街市郷土資料館様で 展示されている、山邊郡印(複製)

現存する奈良時代の郡印として、東日本唯一の物です。重要文化財に指定されており、八街市内から出土しました。郡印の印面が見えるように台座には鏡が取り付けられており、郡印の全体を閲覧しつつ印面も観察しやすい様に工夫してあります。



・展示を見やすくする為の工夫が、様々に凝らしてあります

同じく創意工夫の一つで、 土器の展示ケース兼保管棚

地図の保管棚を、土器の保管棚兼展示ケースに作り替えた物になります。

引き出しごとに土器が並べられており、少ないスペースに効率よく展示されています。



今回の研修において、お客様の目線に立って考える事と、目的を遂げる為の創意工夫について多くの事を学ぶことが出来ました。

今後、お客様の目線と気持ちに寄り添った提案が出来る様、励んで行こうと思います。

最後に、お忙しい中ご協力いただきました、八街市郷土資料館様に感謝申し上げます。

貴重な体験と学習の機会を頂き、ありがとうございました。